

高等教育資訊的公開化 — 以 OCW 為主 —

陳東園

國立空中大學 人文學系 副教授

摘要

近年來大學教育環境越顯嚴峻，尤其在少子女化及大學普及化等的衝擊之下，經營不善的大學已經陸續顯現，甚至有專家學者提出 2015 年將有大學面臨淘汰存亡之問題。此外，高等教育的商業化，大規模的世界性的招生競爭趨勢已儼然成形。

為了有效解決這些問題，專家學者陸續提出開放課程、開放教育等概念等，在要求教育開放的同時，有必要了解究竟高等教育做了哪些面向的開放。因此，本文以開放教育為主的日本放送大學及台灣的國立空中大學為主要的考察分析對象。

本論文將首先探討開放教育的概念，進而透過了解 OCW 課程的實施，分析兩校教育資源開放之狀況與課題；最後將相關研究成果提供給國內教育界作為參考。

關鍵字：開放式課程、公開化、開放教育資源、開放教育、遠隔教育

高等教育コンテンツのオープン化 — OCW を中心に —

陳東園

國立空中大學 人文學系 副教授

要旨

近年、大学教育を取り巻く環境が著しく変化しつつある。そのうち、少子化や大学全入時代などにもない、経営難に陥る大学も増え、大学の淘汰・存亡問題が2015年に発生するとの声もある。さらに、高等教育機関は商業ベースで展開され、世界的な学生獲得競争が普及し始めている。

それらの問題を解決するために、オープンコースウェア、オープンエデュケーションなどの概念が続々と考案された。高等教育機関では、それに対応して、教育資源がどの程度公開されているかを検討する必要がある。ここでは、オープン・ユニバーシティと名づけられた日本の放送大学と台湾の国立空中大学を取り上げて考察を行ってみる。

ここでは、まずオープンエデュケーションの概念についてふれ、次に両大学におけるOCWを中心に考察し、その教育コンテンツのオープン化を明確にしたい。最後にその研究成果を学習募集に苦戦する教育機関に有意義な示唆を提示できればと思う。

キーワード：OCW、オープン化、OER、オープンエデュケーション、遠隔教育